

西名古屋火力発電所リフレッシュ計画

環境影響評価準備書

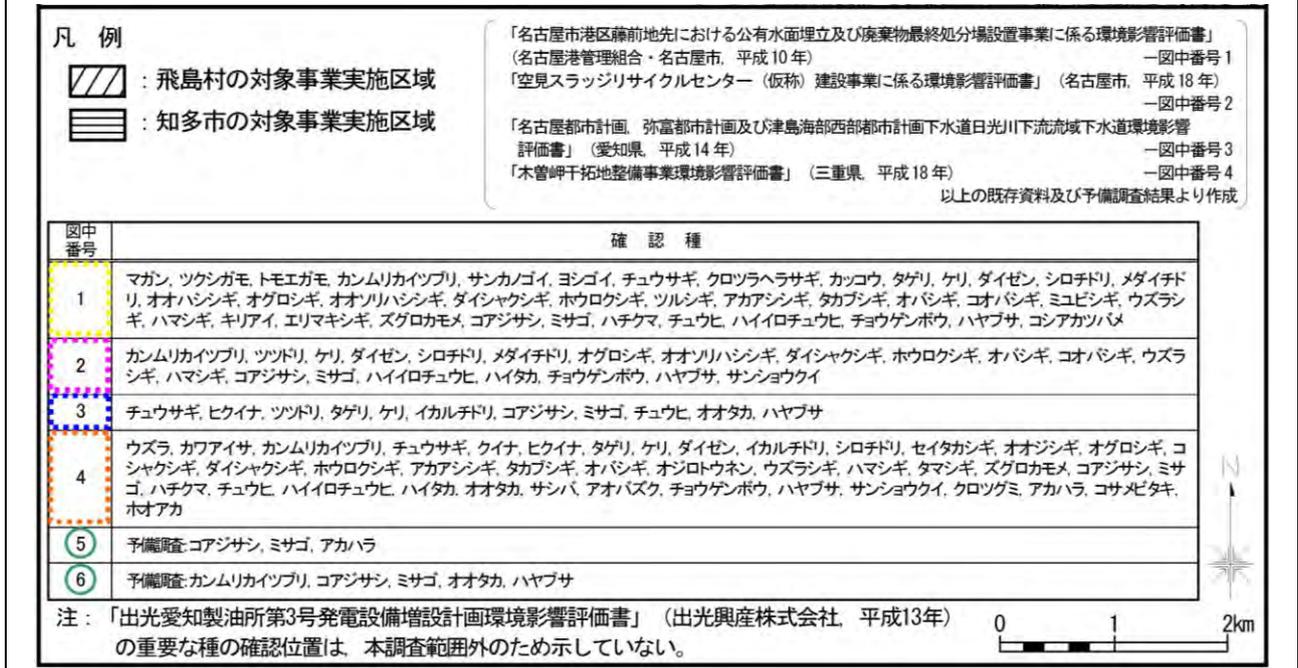
<正誤表>

平成 25 年 2 月

中部電力株式会社

誤

第 3.1-27 図(2) 陸域の動物の重要な種の確認位置 (鳥類)

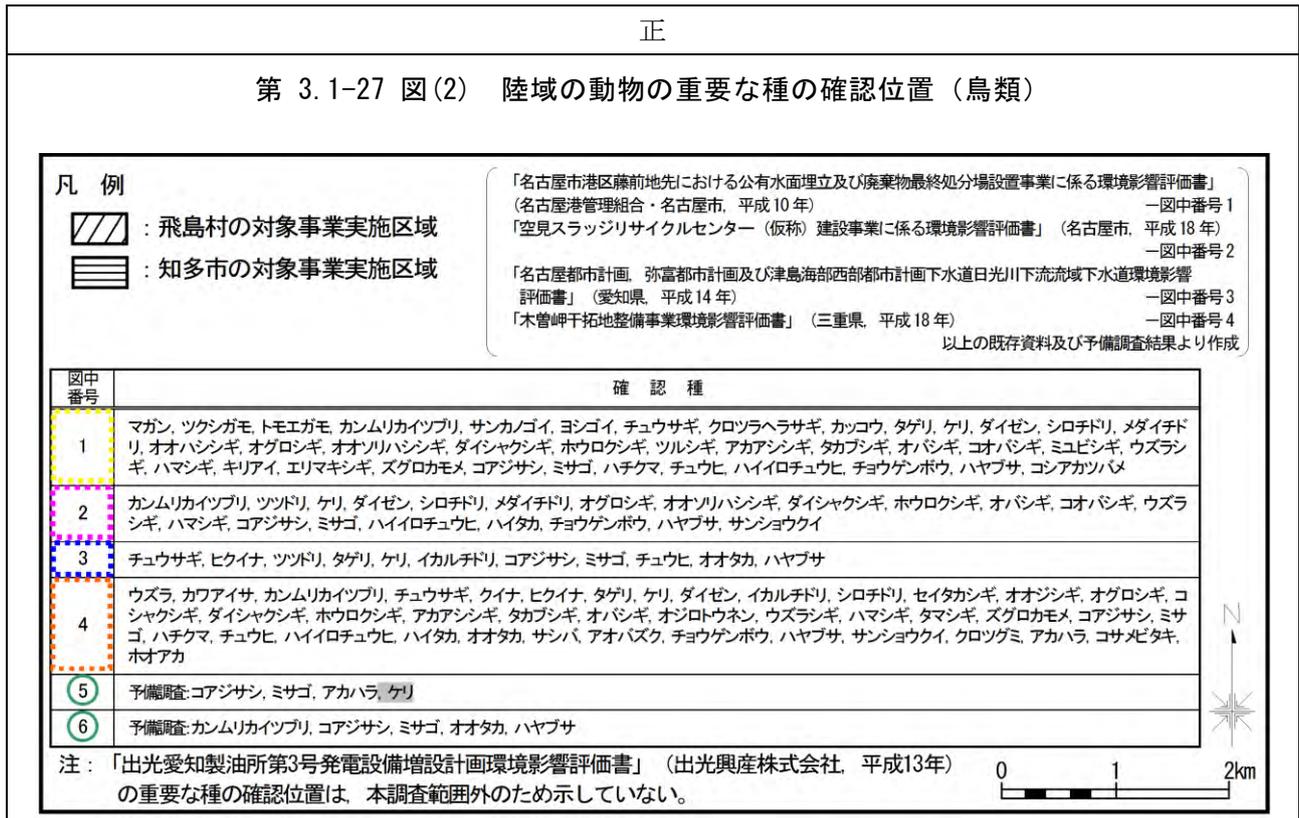


誤

第 8.1.1.1-33 表 予測地点における将来交通量 (工事開始後 14 か月目)

予測地点	路線名	車種	一般車両	工事関係車両	合計	工事関係車両の割合
			(台) A	(台) B	(台) C=A+B	(%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	17,425	266	17,691	1.5
		大型車	13,992	134	14,126	0.9
		合計	31,417	400	31,817	1.3
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	10,149	76	10,225	0.7
		大型車	8,153	104	8,257	1.3
		合計	18,302	180	18,482	1.0

- 注: 1. 予測地点の番号は、第 8.1.1.1-16 図に対応している。
2. 交通量は、平日の 24 時間の往復交通量を示す。
3. 一般車両の将来交通量(平成 26 年)については、現況交通量に伸び率(予測地点①の小型車 1.092、大型車 1.000、予測地点②の小型車 1.022、大型車 1.025)を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成 17、22 年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)一般交通量調査」(国土交通省)の結果から設定した。
4. 小型車の交通量には、二輪車を含む。



正

第 8.1.1.1-33 表 予測地点における将来交通量 (工事開始後 14 か月目)

予測地点	路線名	車 種	一般車両	工事関係車両	合 計	工事関係車両の割合
			(台) A	(台) B	(台) C=A+B	(%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	17,425	266	17,691	1.5
		大型車	13,992	134	14,126	0.9
		合 計	31,417	400	31,817	1.3
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	8,998	76	9,074	0.8
		大型車	6,579	104	6,683	1.6
		合 計	15,577	180	15,757	1.1

注: 1. 予測地点の番号は、第 8.1.1.1-16 図に対応している。

2. 交通量は、平日の 24 時間の往復交通量を示す。

3. 一般車両の将来交通量(平成 26 年)については、現況交通量に伸び率(予測地点①の小型車 1.092, 大型車 1.000, 予測地点②の小型車 1.022, 大型車 1.025)を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成 17, 22 年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)一般交通量調査」(国土交通省)の結果から設定した。

4. 小型車の交通量には、二輪車を含む。

誤

第 8.1.1.1-35 表 窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の日排出量

予測項目	予測地点	路線名	一般車両	工事関係車両	合計
窒素酸化物 ($m^3_N / (km \cdot 日)$)	①	一般国道 302 号	14.409	0.142	14.551
	②	主要地方道 名古屋西港線	8.396	0.105	8.501
浮遊粒子状物質 ($kg / (km \cdot 日)$)	①	一般国道 302 号	1.595	0.016	1.611
	②	主要地方道 名古屋西港線	0.930	0.012	0.942

注：予測地点の番号は、第 8.1.1.1-16 図に対応している。

誤

ホ. 予測結果

予測地点における将来交通量の予測結果は、第 8.1.1.1-39 表のとおりである。

予測地点①（一般国道 302 号）では、工事関係車両の台数は 940 台であり、工事関係車両の占める割合は 3.3%である。

予測地点②（主要地方道名古屋西港線）では、工事関係車両の台数は 320 台であり、工事関係車両の占める割合は 1.9%である。

第 8.1.1.1-39 表 予測地点における将来交通量の予測結果
(工事開始後 19 か月目)

予測地点	路線名	車種	一般車両	工事関係車両	合計	工事関係車両の割合
			(台) A	(台) B	(台) C=A+B	(%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	15,100	532	15,632	3.4
		大型車	12,788	408	13,196	3.1
		合計	27,888	940	28,828	3.3
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	9,092	152	9,244	1.6
		大型車	7,552	168	7,720	2.2
		合計	16,644	320	16,964	1.9

- 注：1. 予測地点の番号は、第 8.1.1.1-16 図に対応している。
 2. 交通量は、工事関係車両が運行する時間帯（5～20 時）の往復交通量を示す。
 3. 一般車両の将来交通量（平成27年）については、現況交通量に伸び率（予測地点①の小型車 1.104、大型車1.000、予測地点②の小型車1.025、大型車1.029）を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成17、22年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）の結果から設定した。
 4. 小型車の交通量には、二輪車を含まない。

正

第 8.1.1.1-35 表 窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の日排出量

予測項目	予測地点	路線名	一般車両	工事関係車両	合計
窒素酸化物 ($\text{m}^3_{\text{N}}/(\text{km}\cdot\text{日})$)	①	一般国道 302 号	14.409	0.142	14.551
	②	主要地方道 名古屋西港線	6.808	0.105	6.913
浮遊粒子状物質 ($\text{kg}/(\text{km}\cdot\text{日})$)	①	一般国道 302 号	1.595	0.016	1.611
	②	主要地方道 名古屋西港線	0.753	0.012	0.765

注：予測地点の番号は、第 8.1.1.1-16 図に対応している。

正

オ. 予測結果

予測地点における将来交通量の予測結果は、第 8.1.1.1-39 表のとおりである。

予測地点①（一般国道 302 号）では、工事関係車両の台数は 940 台であり、工事関係車両の占める割合は 3.3%である。

予測地点②（主要地方道名古屋西港線）では、工事関係車両の台数は 320 台であり、工事関係車両の占める割合は 2.2%である。

第 8.1.1.1-39 表 予測地点における将来交通量の予測結果
(工事開始後 19 か月目)

予測地点	路線名	車種	一般車両	工事関係車両	合計	工事関係車両の割合
			(台) A	(台) B	(台) C=A+B	(%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	15,100	532	15,632	3.4
		大型車	12,788	408	13,196	3.1
		合計	27,888	940	28,828	3.3
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	8,118	152	8,270	1.8
		大型車	6,096	168	6,264	2.7
		合計	14,214	320	14,534	2.2

注：1. 予測地点の番号は、第 8.1.1.1-16 図に対応している。

2. 交通量は、工事関係車両が運行する時間帯（5～20 時）の往復交通量を示す。

3. 一般車両の将来交通量（平成27年）については、現況交通量に伸び率（予測地点①の小型車 1.104、大型車1.000、予測地点②の小型車1.025、大型車1.029）を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成17、22年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）の結果から設定した。

4. 小型車の交通量には、二輪車を含まない。